資　料　４－１

道路事業 再評価
一般国道７号 大館西道路

平成２２年　９月　３日
国土交通省　東北地方整備局

前回評価後３年経過

事業名	一般国道７号　大館西道路（おおだてにしどうろ）	事業種別	一般二次

事業の目的

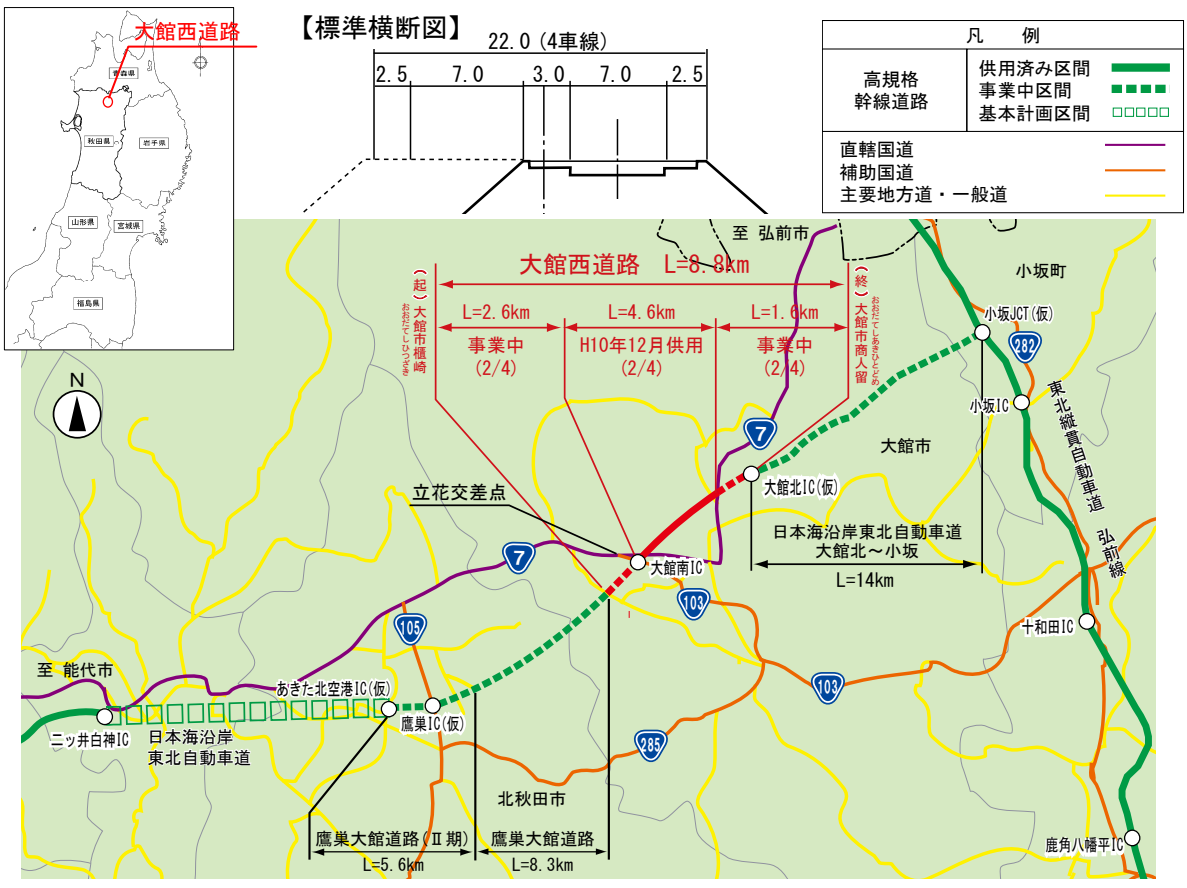
日本海沿岸東北自動車道（にほんかいえんがんとうほく）は、新潟（にいがた）市を起点として山形県酒田（さかた）市、秋田（あきた）市を経て東北縦貫自動車道と連結し、青森（あおもり）市に至る延長約 320km の高規格幹線道路である。

大館西道路は、日本海沿岸東北自動車道に並行する一般国道の自動車専用道路であり、日本海沿岸東北自動車道の一部として機能し、都市間所要時間の短縮を図り広域的な連携・交流を促進する高規格幹線ネットワークを形成するとともに、主要施設へのアクセス向上等に寄与することを目的としている。

事業の概要

起終点	自：秋田県大館市櫃崎（あきた おおだてしひつざき） 至：秋田県大館市商人留（あきた おおだてしあきひとどめ）		延　長 供用済	8.8km 4.6km
道路規格	第１種３級（第１種２級） 設計速度 80km/h（100km/h）		幅員	W=22.0m （23.5m）
事 業 化	昭和 57 年度	都市計画決定	平成 8 年度	
用地着手	昭和 59 年度	工事着手	平成元年度	

	全体事業費・進捗率			H17 再評価時
	全体事業費（うち用地費）	執行済み額（うち用地費）	全体進捗率（うち用地費）	全体事業費（うち用地費）
完成	480 億円（92 億円）	344 億円（92 億円）	72%（100%）	480 億円（92 億円）
暫定	367 億円（92 億円）	344 億円（92 億円）	94%（100%）	367 億円（92 億円）



事業の概要

（参考）道路規格等

事業名	区間	延長（km）	事業化（年度）	道路規格（設計速度）	車線数	計画交通量（台/日）
鷹巣大館道路（Ⅱ期）	あきた北空港～北秋田市栄	5.6	H19	１種２級（100km/h）	２車線	12,500
鷹巣大館道路	北秋田市栄～大館市櫃崎	8.3	H17	１種２級（100km/h）	２車線	13,000
大館西道路	大館市櫃崎～大館南	2.6	H15	１種２級（100km/h）	４車線	14,500
	大館南～大館市釈迦内	4.6	S57	１種３級（80km/h）	４車線	
	大館市釈迦内～大館北	1.6	S63	１種３級（80km/h）	４車線	
日本海沿岸東北自動車道 大館北～小坂	大館北～小坂	14.0	H10	１種３級（80km/h）	２車線	5,200



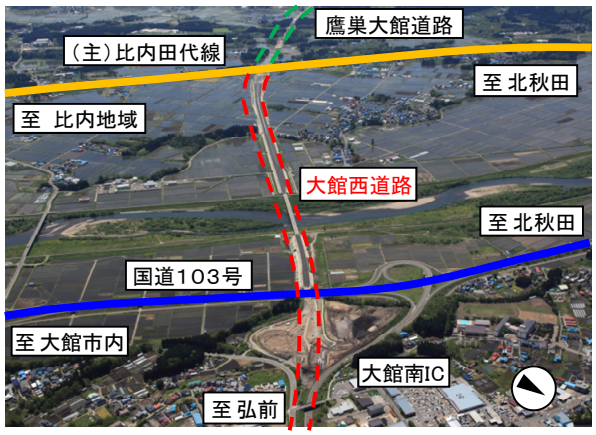
事業の概要

整備状況・供用区間状況

大館西道路供用済み区間状況 L=4.6km）（大館市内から終点側を臨む）



大館西道路整備状況（L=2.6km）（大館南 IC から北秋田市内方面を臨む）

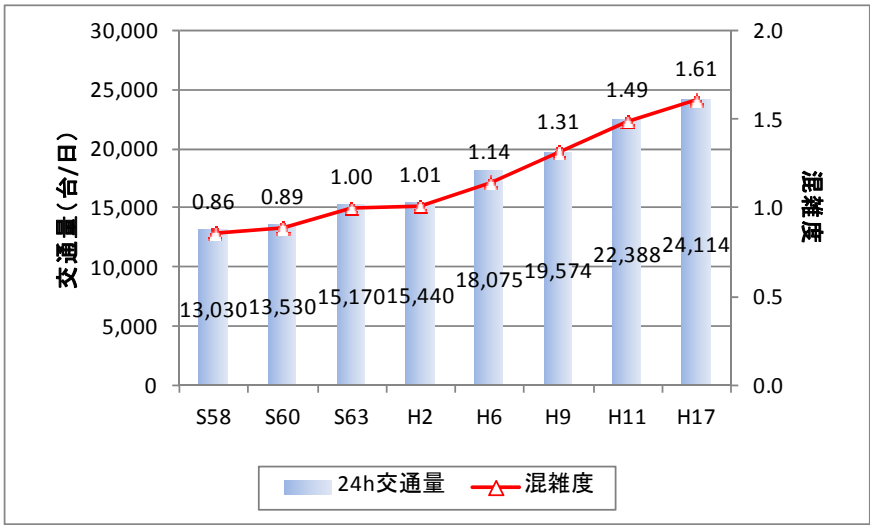


国道 7 号の道路混雑状況





▲大館市立花（たてはな）地区の渋滞状況



※各年度の混雑度算出に用いる交通容量は、H17 道路交通センサス基準に基づき算出

▲　現道の交通量及び混雑度の推移

出典：道路交通センサス（立花地区）
H17 交通実態調査（能代河川国道事務所）

事業の概要

地域の課題と整備目標（１／２）

１．秋田県北地域の課題

①リサイクル産業集積地域と能代港間の連携強化

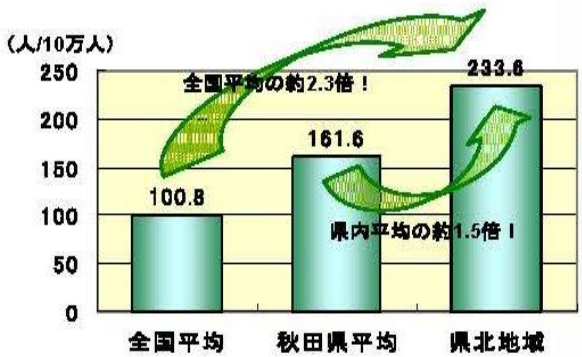
・秋田県北地域は、鉱山技術を活かしたリサイクル産業の振興を目指している。
・一方で、静脈物流の拠点であるリサイクルポート能代港までの移動時間が長いことが、リサイクル貨物輸送の効率化を阻害。
・秋田県北地域における次世代産業の基盤強化を行う上で、リサイクル産業集積地域と能代港間の移動時間の長さが課題。



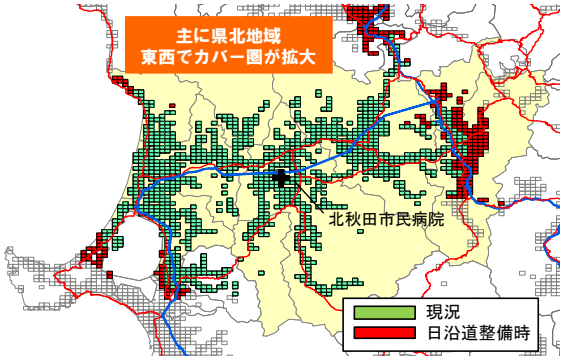
▲ 秋田県北地域のリサイクル関連企業

②救急医療施設への搬送時間が長い

・脳血管疾患は速やかに適切な医療機能のある救急医療施設で治療を行うことが重要。
・秋田県北地域の脳血管疾患の死亡率は、全国平均の約 2.3 倍と非常に高い。
・要因の一つとして、救命救急処置を行う第三次救急医療施設の存在とともに搬送時間が大きな影響を与えており、第三次救急医療施設への搬送時間の短縮が課題。



▲ 脳血管疾患死亡率



▲ 第三次救急医療施設 60 分到達カバー圏

事業の概要

地域の課題と整備目標（２／２）

２．原因分析

①広域的な高速道路ネットワークの未整備

・リサイクルポート能代港とリサイクル産業関連会社集積地域を結ぶ日本海沿岸東北自動車道がネットワーク化していない。

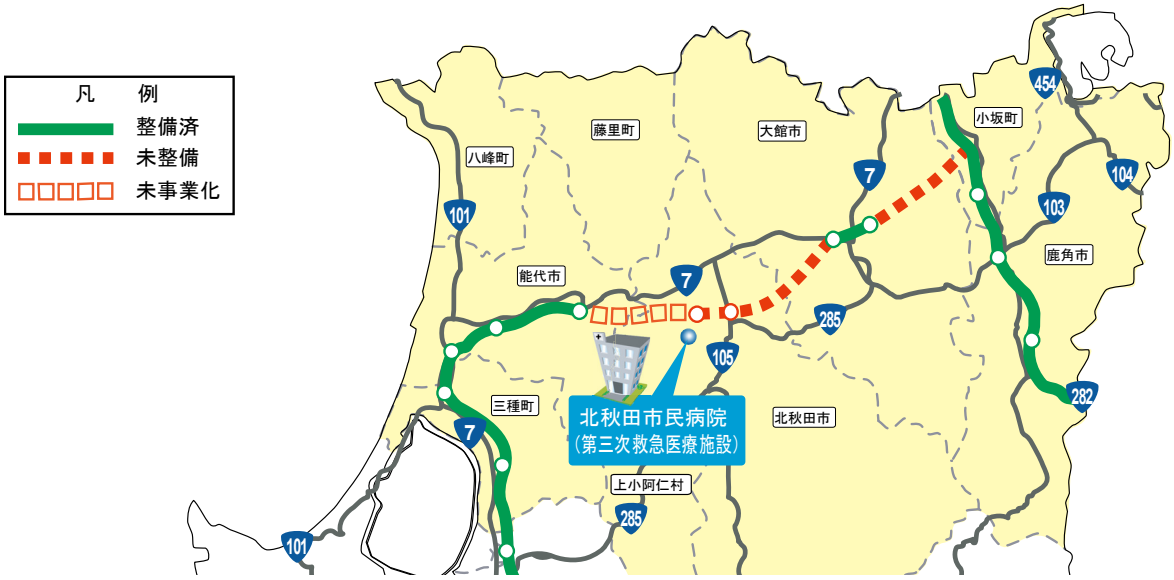


▲ 広域ネットワークの未整備

②救急医療施設への高速道路ネットワークが未整備

・三次救急医療は北秋田市民病院（きたあきたしみんびょういん）に依存。

・日本海沿岸東北自動車道と北秋田市民病院が高速道路で接続していない。



▲ 第三次救急医療施設へのアクセスルート

３．整備目標

①地域経済・産業を支援するネットワークの形成

②第三次救急医療施設への速達性向上

事業の概要

部分供用の効果

○ 部分供用（本線部 L=4.6km）による効果

・大館西道路は、全体計画延長 8.8km のうち平成 10 年度に 4.6km を部分供用している。

・部分供用により、大館西道路へ交通が転換したため、国道 7 号の交通量は 25,904 台/日(混雑度 2.03)から 22,178 台/日(混雑度 1.63)に減少。

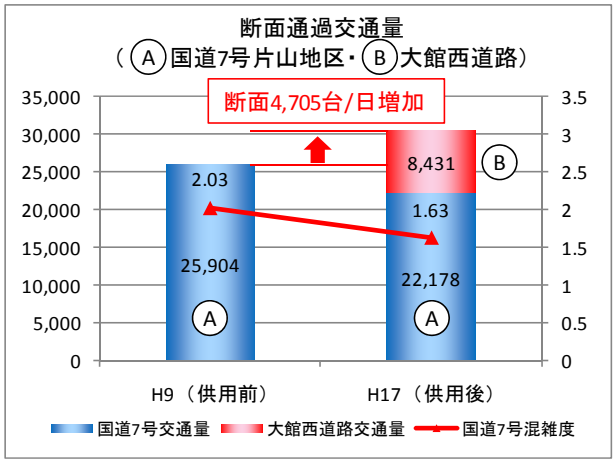
・朝のラッシュ時の大館市街地の通過時間が、現国道 7 号利用で 14 分、大館西道路利用で 20 分短縮され、走行速度が改善された。

・大館市街地に流入する大型車の 6 割以上が大館西道路に転換しており、市街地の走行性および沿道環境向上が図られた。

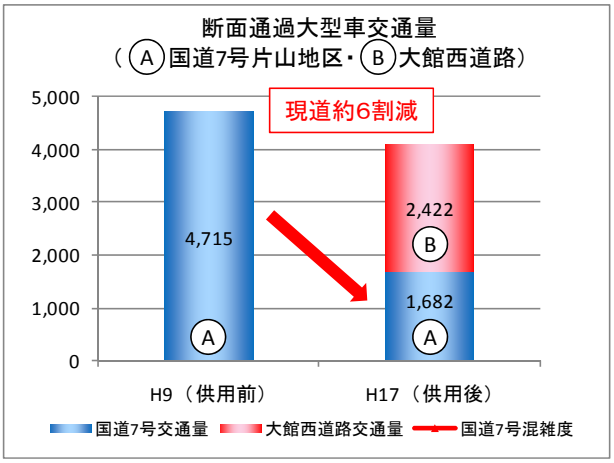


▲ 大館市街地通過時間短縮状況

出典：H9～H10 交通実態調査(能代工事事務所)



▲ 断面通過交通量と混雑度の変化



▲ 断面通過大型車交通量の変化

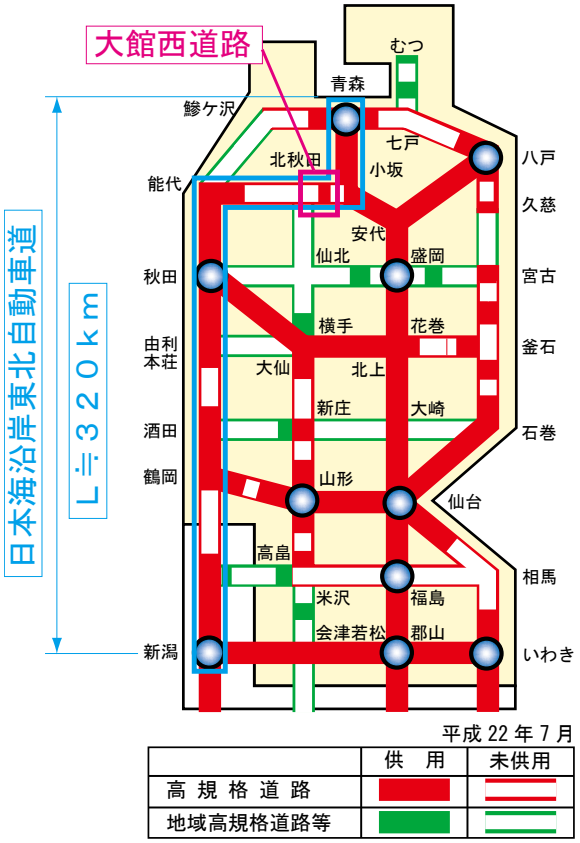
出典：H9、H17 道路交通センサス

事業の必要性等に関する視点

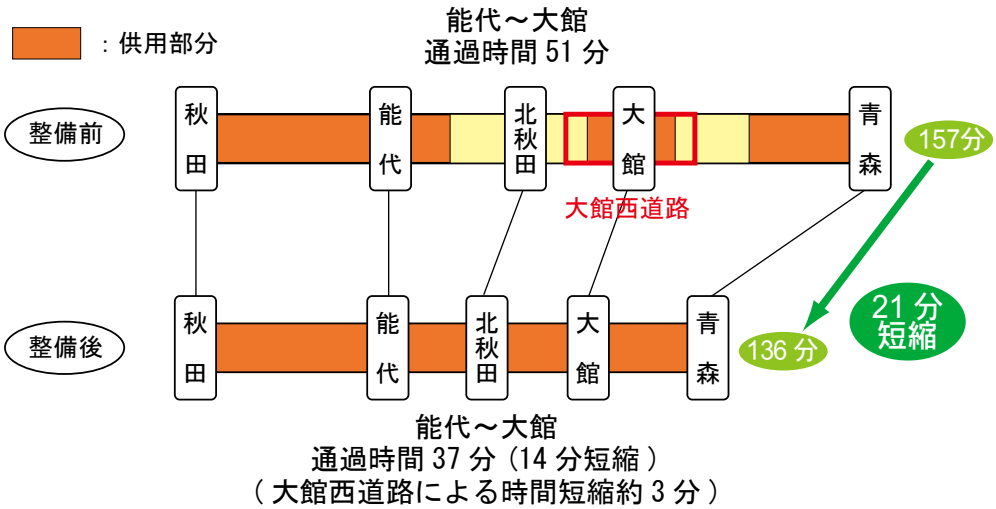
事業を巡る社会経済情勢等の変化（１／６）

１．高規格幹線道路ネットワーク構築

・大館西道路は、日本海沿岸東北自動車道の一部として、高規格幹線道路ネットワークを形成し、秋田県北部地域の連携・交流の促進に寄与するものである。



▲　格子状骨格幹線道路ネットワーク



▲　秋田市～青森市間の所要時間の変化（平成 22 年 7 月現在）

資料：07’～08’道路時刻表、整備後の速度は 100km/h（一部 80km/h）として設定

事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会経済情勢等の変化（２／６）

２．能代港へのアクセス向上

・秋田県北部地域には、世界でもトップクラスのリサイクル産業が集積しており、静脈物流の拠点として能代港の必要性は高まっている。

・日沿道の整備により、秋田県北部地域のリサイクル関連施設と能代港との移動時間が約 31 分短縮。

・能代港⇔小坂町（こさかまち）の所要時間が短縮し、運送効率の向上も期待できる。



出典：07’～08’道路時刻表

秋田県北エコタウン計画

秋田県北9市町村（能代市、北秋田市、大館市、鹿角市、三種町、八峰町、藤里町、小坂町、上小阿仁村）では資源循環型産業への転換を目指すため「秋田県北部エコタウン計画」を平成11年度に策定。

世界トップクラスの鉱山技術を背景とした金属リサイクル事業により、廃棄物対策に取り組み、地域振興を図りながら環境と調和したまちづくりを進めている。

リサイクルポートとは

能代港は、広域的なリサイクル施設の立地等に対応した静脈物流の拠点となる港湾として、H18年度に「リサイクルポート」として指定されている。

「秋田県北部エコタウン計画」と連携したリサイクル関連貨物を取り扱う拠点として重要な役割が期待されている。

＜地域の声＞

●能代港は小坂町に位置する工場と距離的にも近く、今後高速道路が開通し利便性が増すことを期待している。
（精錬事業所　小坂町）

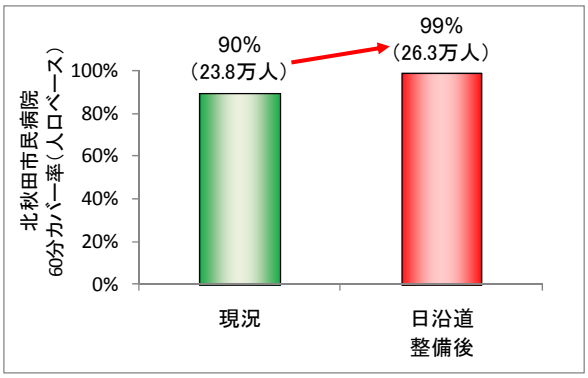
●当社では、能代港に保管施設等の循環資源取扱支援施設を建設する計画で、これにより石炭の燃え殻及び金属くず、汚染土壌をバラ荷で荷揚げすることが可能となり、新たに年間３万トンの取扱貨物量を予定している。
（リサイクル事業所　能代市）

事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会経済情勢等の変化（３／６）

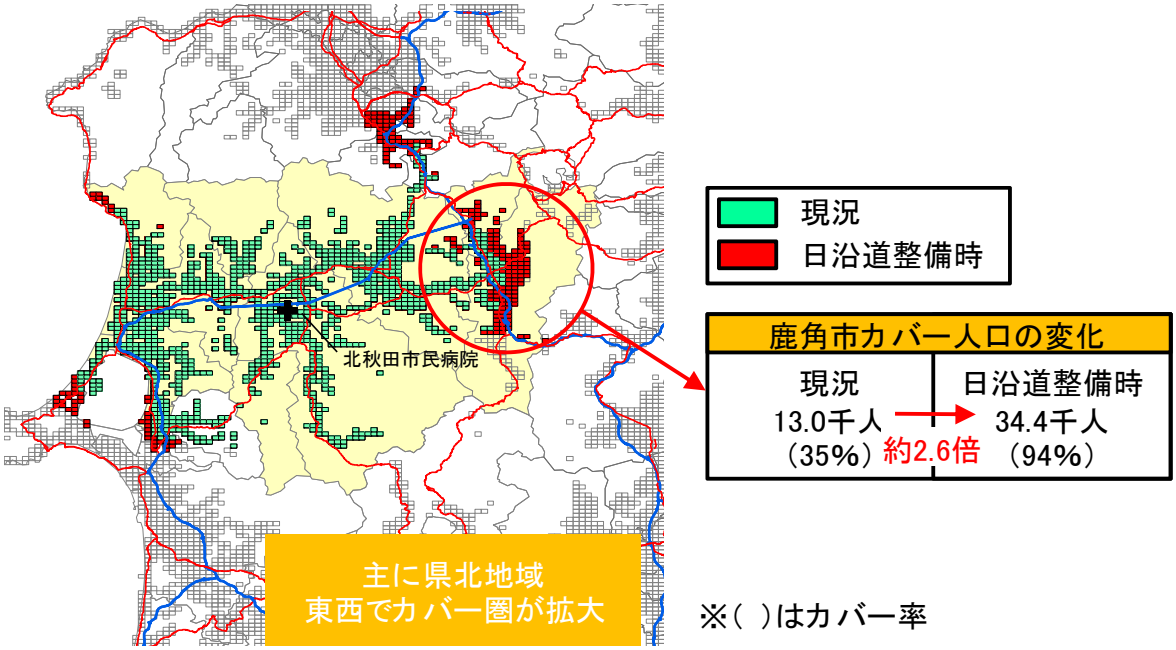
３．三次救急医療圏域の拡大

・日沿道の全線整備により、秋田県北地域の人口を 99%カバー可能となる。
・特に鹿角市のカバー人口は約 2.6 倍となる。
・60 分未達地区人口が減少（2 万 8 千人→3 千人）。



▲　秋田県北地域における北秋田市民病院 60 分カバー率の変化

※人口はH17 国勢調査より
※県北地域の人口：26.6 万人



▲　三次救急医療施設 60 分カバー圏域の変化

資料：H17 国勢調査
※北秋田市民病院は平成22年4月に開院され、三次医療施設の補完機能として県北地域の三次医療機能（救急救命センター）を合わせ持つ。

事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会経済情勢等の変化（４／６）

１．広域観光ルートの形成支援

・秋田県の観光は、十和田湖（とわだこ）～八幡平（はちまんたい）～角館（かくのだて）～秋田～男鹿（おが）といった観光流動が多いものの、県北地域の観光客数は少ない状況にある。

・一方で、県北地域一帯には世界遺産白神山地（しらかみ）を代表として、様々な観光資源が点在している。

・日沿道の整備により東北道からのアクセス性が向上し、十和田湖から男鹿間の新たな観光周遊ルートの形成に寄与する。

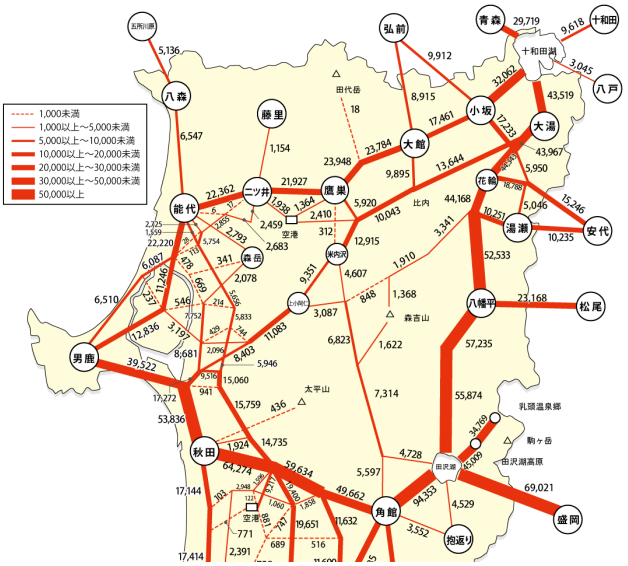
＜観光関係者の声＞

●白神山地周辺に宿泊施設が少ないことから、男鹿や十和田と連携する必要があり、高速道路の必要性が高い。

（観光バス事業者　能代市）

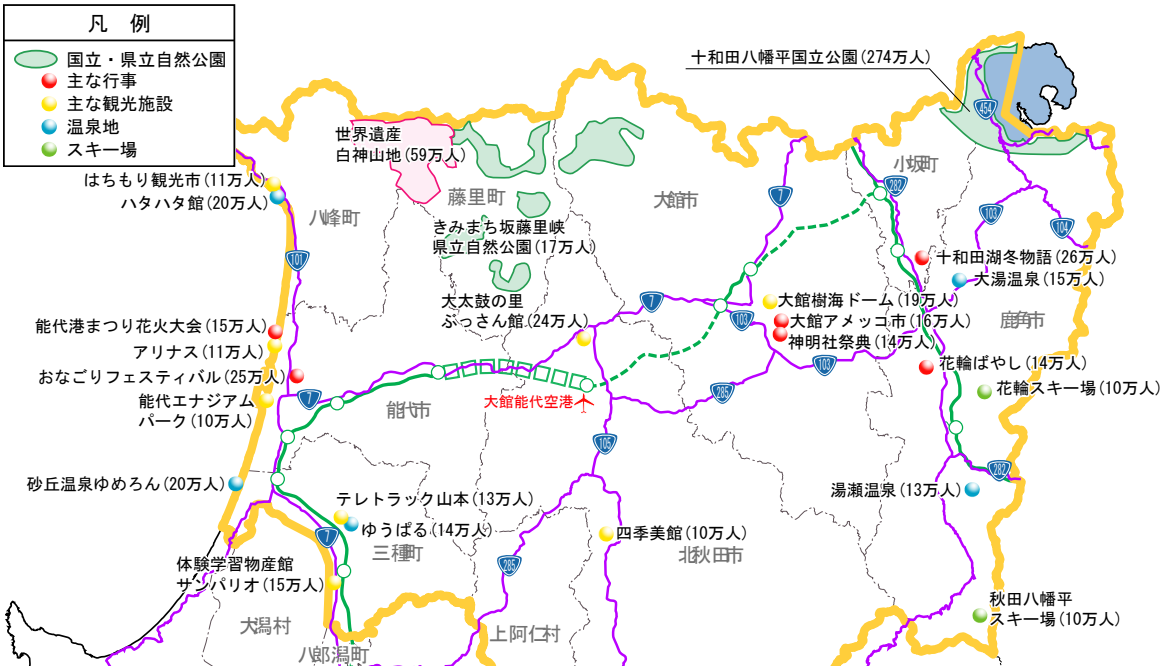
●これまでの北東北の観光は、奥入瀬渓流を含む十和田湖がメインであったが、世界遺産白神山地はこれらと匹敵する資源と評価しており、今後これらの２本を大きな柱として活性化していくことを期待している。

（観光関連業者　東京都）



出典：H20 秋田県観光統計

▲　秋田県の観光流動（人）



出典：H20 秋田県観光統計
H21 青森県観光統計概要
※白神山地は、西目屋村の観光入込客数

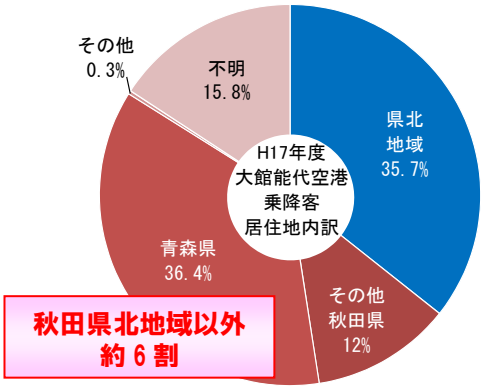
▲　秋田県北部地域の主要な観光施設（10 万人以上）

事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会経済情勢等の変化（５／６）

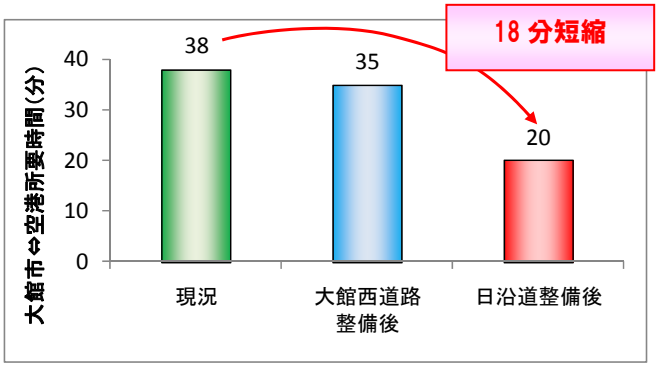
４．大館能代空港へのアクセス向上

・大館能代空港(H10 開港)は秋田県北地域外利用者が約 6 割と、秋田県北地域だけでなく周辺地域にとっても重要な交通インフラとなっている。
・一方、現況で秋田県北地域の空港 30 分カバー率(人口ベース)は、県北地域の人口の 5 割以下となっている。
・日沿道の全線整備により、秋田県北地域の空港 30 分カバー率(人口ベース)が約 7 割まで上昇し、更なる観光・産業等の交流の活発化が見込まれる。



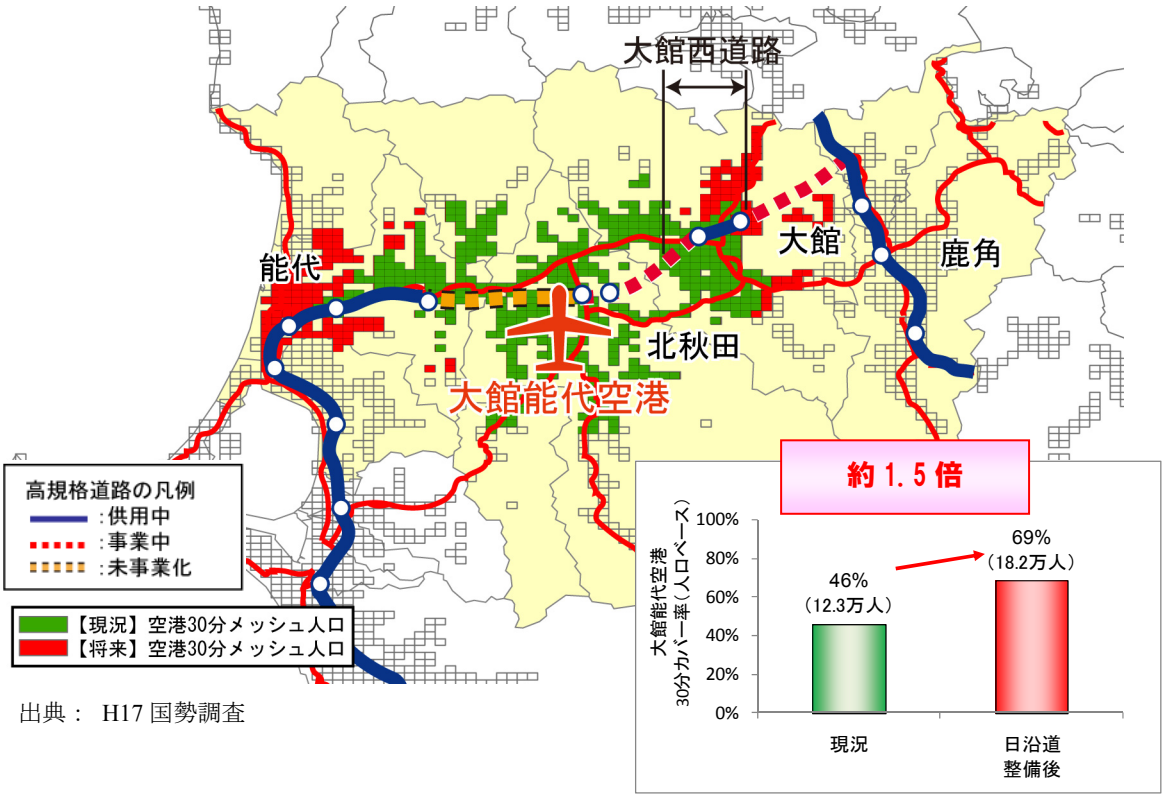
▲ 大館能代空港の居住地別乗降客内訳

※割合は平成 17 年 10 月 16 日(日)調査結果による
出典：H17 航空旅客動態調査報告書(国土交通省航空局)



▲ 大館市～大館能代空港間の所要時間の変化

資料：07’～08’道路時刻表、整備後の速度は 100km/h（一部 80km/h）として設定



出典： H17 国勢調査

▲ 大館能代空港 30 分カバー圏域の変化

事業の必要性等に関する視点	事業を巡る社会経済情勢等の変化（６／６） 〇環境影響評価の対応 　環境影響評価実施要綱（昭和 59 年閣議決定）等に基づく環境影響評価は、実施していない。 　事業実施にあたり、環境影響が生じる場合等においては、専門家等の助言を踏まえ、適切な対応を図る。 〇事業採択時より再評価実施までの周辺環境等の変化 　この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。

事業の必要性等に関する視点〔費用対効果分析〕

費用便益比（B/C）

○費用便益比（Ｂ／Ｃ）

※下表の数値は、基準年（平成 22 年）における現在価値換算した金額を記載。

計画交通量(平成 42 年度)　・大館西道路＝14,500 台/日　・現道＝9,900 台/日

【全　線】

	基本ケース	感度分析					
		交通量変動		事業費変動		事業期間変動	
		＋10%	－10%	＋10%	－10%	＋20%	－20%
費用Ｃ（現在価値）	***618***	***618***	***618***	***678***	***558***	***616***	***638***
事　業　費(億円)	601	601	601	661	541	603	615
維持管理費(億円)	17	17	17	17	17	13	23
便益Ｂ（現在価値）	***1190***	***1407***	***954***	***1190***	***1190***	***861***	***1643***
走行時間短縮便益(億円)	1064	1206	909	1064	1064	770	1468
走行経費減少便益(億円)	90	157	16	90	90	64	124
交通事故減少便益(億円)	37	44	29	37	37	27	52
費用便益比　Ｂ／Ｃ	***1.9***	***2.3***	***1.5***	***1.8***	***2.1***	***1.4***	***2.6***

【残事業】

	基本ケース	感度分析					
		交通量変動		事業費変動		事業期間変動	
		＋10%	－10%	＋10%	－10%	＋20%	－20%
費用Ｃ（現在価値）	***125***	***125***	***125***	***136***	***114***	***124***	***128***
事　業　費(億円)	108	108	108	118	97	108	109
維持管理費(億円)	17	17	17	17	17	16	19
便益Ｂ（現在価値）	***857***	***903***	***810***	***857***	***857***	***782***	***940***
走行時間短縮便益(億円)	786	815	758	786	786	718	862
走行経費減少便益(億円)	45	62	28	45	45	41	50
交通事故減少便益(億円)	25	26	23	25	25	23	27
費用便益比　Ｂ／Ｃ	***6.9***	***7.2***	***6.5***	***6.3***	***7.5***	***6.3***	***7.3***

○純現在価値（NPV）　【全線】５７２億円　【残事業】７３２億円

○経済的内部収益率（EIRR）　【全線】６．０％　【残事業】２１．９％

（参考）

○費用便益比（Ｂ／Ｃ）

【前回再評価時のＢ／Ｃ】　【残事業】４．９　【全体】２．３

【今回再評価時のＢ／Ｃ】　【残事業】６．９　【全体】１．９

（前回再評価時の計画交通量）

・大館西道路＝１８，４００台/日

・現　　道＝　９，２００台/日

（今回再評価時の計画交通量）

・大館西道路＝１４，５００台/日

・現　　道＝　９，９００台/日

事業の見込みの視点

事業の進捗状況について

・事業進捗に係る問題はない。

供用予定等今後の事業の見通し

・南側 L=2.6km 及び北側 L=1.6km について、早期供用を目指す。



▲　位置図

コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減メニュー

・新技術活用(移動式土質改良機)によるコスト縮減。
・橋台背面部盛土にＦＣＢ（気泡混合軽量土）の採用によるコスト縮減。

地方公共団体等の意見	秋田県知事の意見 　継続に異議ありません。 その他、以下の団体等から、大館西道路を含む日本海沿岸東北自動車道の整備促進について要望あり。 〇秋田県（秋田県知事、秋田県議会議長） 〇秋田県北部国道７号整備促進期成同盟会（能代市長） 〇日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会（大館市長） 〇北秋田市日沿道・中岱橋建設促進期成同盟会（北秋田市長） 〇秋田県町村会（井川町長） 〇能代市議会（能代市議会議長） 〇能代商工会議所 〇大館商工会議所 〇山本地区商工会議所連絡協議会 〇北秋田地区商工会議所連絡協議会 〇かづの商工会
対応方針	原案　事業継続 （理由） 　高規格幹線道路ネットワーク形成するとともに、大館市周辺の国道７号の渋滞緩和や主要施設へのアクセス向上等、早期整備の必要性が高い。 　また、地元自治体からの事業促進の要望活動も強く行われている。

資　料　４－２

道路事業 再評価
一般国道７号 大館西道路

平成２２年　9月　3日
国土交通省　東北地方整備局

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道７号	大館西道路	L=8.8km	二次改築	ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
14,500	4	東北地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成22年度		
単純合計	464億円	55億円	519億円
うち残事業分	130億円	55億円	184億円
基準年における現在価値（Ｃ）	601億円	17億円	618億円
うち残事業分	108億円	17億円	125億円

② 便　益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	平成22年度			
供 用 年	平成31年度			
単年便益（初年便益）	76億円	6.4億円	2.7億円	85億円
基準年における現在価値（Ｂ）	1,064億円	90億円	37億円	1,190億円
うち残事業分	786億円	45億円	25億円	857億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	1.9
経済的純現在価値（事業全体）	572億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.0%
費用便益比（残事業）	6.9
経済的純現在価値（残事業）	732億円
経済的内部収益率（残事業）	21.9%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	14,500	±10%	6.5～7.2
事業費	130	±10%	6.3～7.5
事業期間	8年	±20%	6.3～7.3

様式－３①

交通状況の変化

事業名：大館西道路(全体)

（推計時点　　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路［バイパス等］：8.8km		交通量	[台/日]	0	14,500
		走行時間	[分]	0	7
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	18.51
②主な周辺道路	現道(国道７号)：13.34km	交通量	[台/日]	11,900	9,900
		走行時間	[分]	29	25
		走行時間費用	[億円/年]	66.24	44.96
	（主）大館十和田湖線：0.32km	交通量	[台/日]	6,500	4,600
		走行時間	[分]	1	1
		走行時間費用	[億円/年]	0.83	0.52
	（県）大館鷹巣線：1.45km	交通量	[台/日]	1,900	1,500
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	0.95	0.78
	市道:1.09km	交通量	[台/日]	2,300	1,700
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	0.88	0.64
③その他道路合計：5697.75km		走行時間費用	[億円/年]	12,622.12	12,555.09

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益
合計：5722.75km	走行時間短縮便益	[億円/年]	12,691.02	12,620.50	70.52

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※１： 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

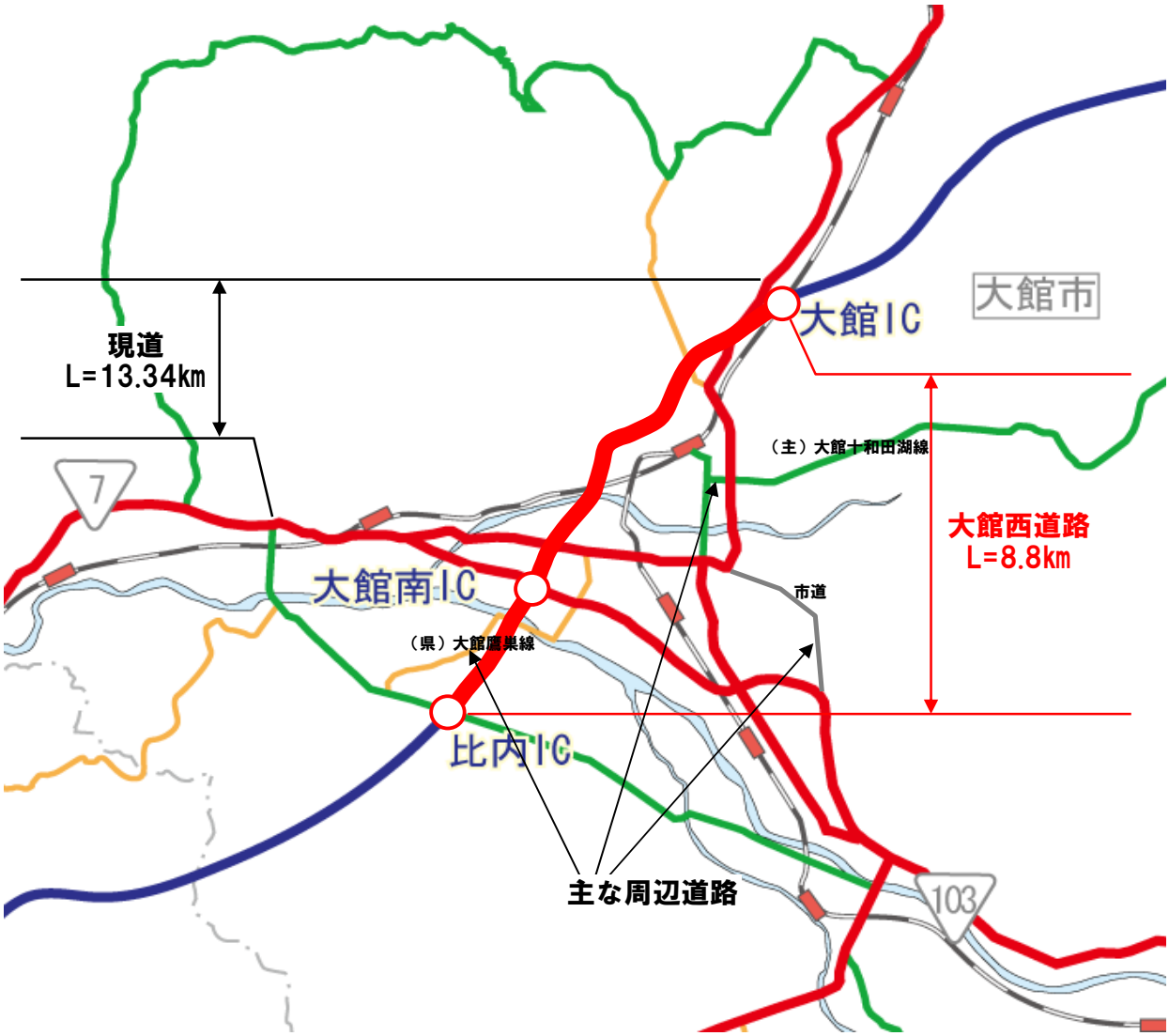
※２： 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３： 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

事業名：大館西道路（全体）

【 図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



様式－３①

交通状況の変化

事業名：大館西道路(残事業)

（推計時点　　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路［バイパス等］：4.20km		交通量	[台/日]	0	12,800
		走行時間	[分]	0	3
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	7.93
②主な周辺道路	現道(国道７号)：4.66km	交通量	[台/日]	14,500	12,400
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	22.92	17.79
	（主）大館十和田湖線：0.32km	交通量	[台/日]	4,900	4,600
		走行時間	[分]	1	1
		走行時間費用	[億円/年]	0.55	0.52
	（県）大館鷹巣線：1.45km	交通量	[台/日]	1,900	1,500
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	0.96	0.78
	市道:1.09km	交通量	[台/日]	2,000	1,700
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	0.73	0.64
③その他道路合計：5711.03km		走行時間費用	[億円/年]	12,647.21	12,592.84

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益
合計：5722.75km	走行時間短縮便益	[億円/年]	12,672.37	12,620.50	51.87

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※１： 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

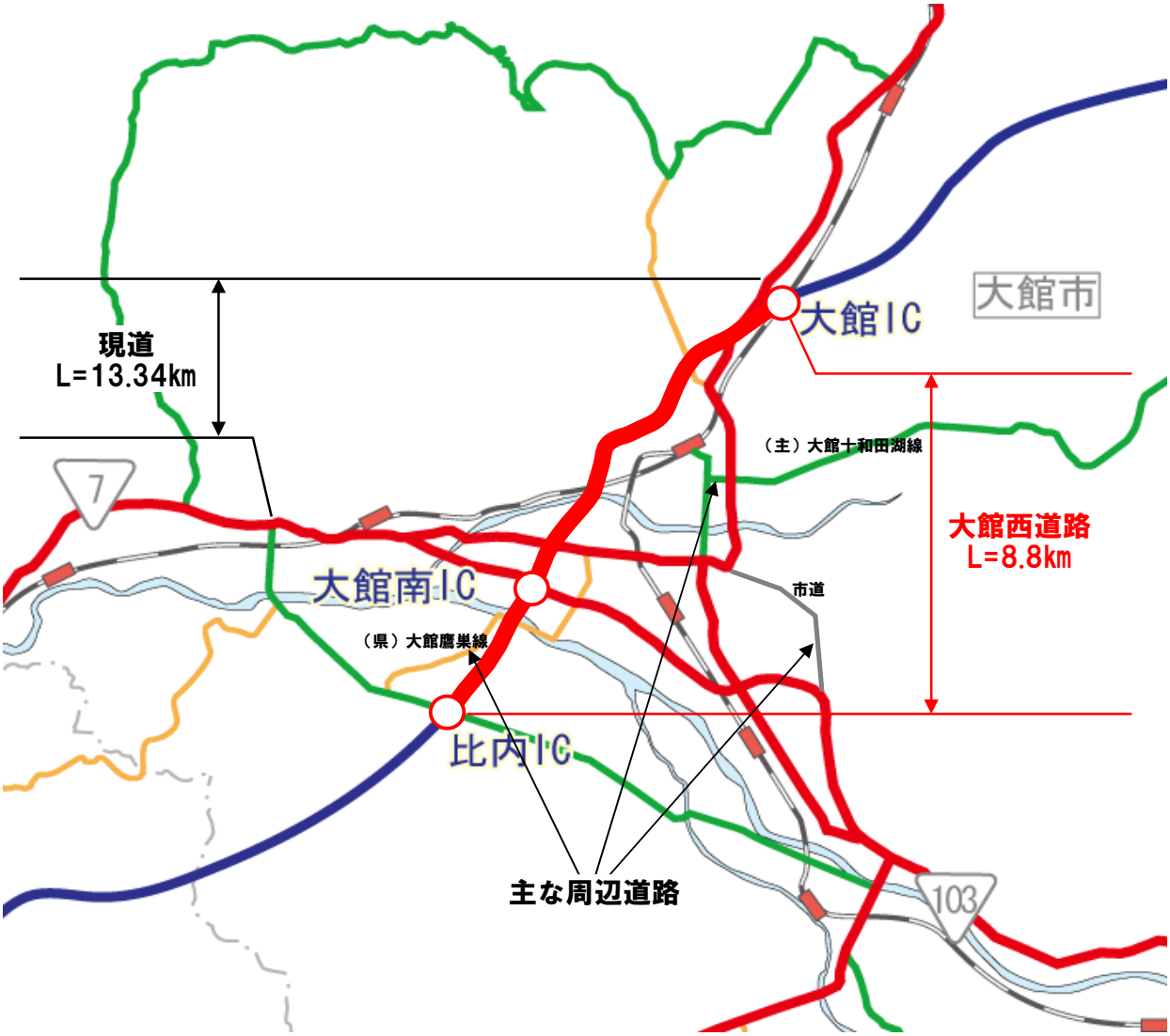
※２： 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３： 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

事業名：大館西道路（残事業）

【 図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



様式－３②

費用便益分析の条件

事業名：大館西道路

（2）

項目				チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成20年11月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）		■
		その他		□
分析の基本的事項		分析対象期間		50年間
		社会的割引率		4%
		基準年次		平成22年
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計		■（平成42年）
		複数時点での推計		□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		■
		整備の有無のいずれかのみ推計		□ 有　□ 無
		いずれかのみの推計の場合		
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 （三段階推定法）		■ （H17センサス）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 （四段階推定法）		□
		その他（　　）		□
	開発交通量の考慮	無		■
		有		□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量（トリップ数）	（　）台ﾄﾘｯﾌﾟ／日
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		□
		転換率式を用いた配分		□
		Q－V式と転換率式の併用による配分		■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）		□
		簡易手法		□
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
			山間部海岸部で併行道路が少ない	□
			その他（　　）	
		その他（　　）		□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		■
		採用理由を記載	交通量が、交通容量（Qmax～Qmin）以上の路線、交通容量（Qmin～Qmax）の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
		最終配分の速度		□
		その他（　　）		□

事業名：大館西道路

（3）

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	（　　）%
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	（　　）日
			とり止め交通を考慮する	□
	冬期交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	（　　）日
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他（　　）		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		■
		中央分離帯の有無を考慮しない		□
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
	その他			

事業名：大館西道路

（4）

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	■
		標準投資パターンを採用	□
		その他（　　）	□
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 東北地方整備局管内直轄路線の1km当たり平均単価（実績値）を使用	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	■
	その他		

4．その他

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：大館西道路(全体)	単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
	0.129	8.8	1.14

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円) 単純価値	事業費(億円) 現在価値	維持管理費(億円) 単純価値	維持管理費(億円) 現在価値
−37年目	S 57	2.9987	89.6	0.20	0.61		
−36年目	S 58	2.8834	90.5	0.20	0.58		
−35年目	S 59	2.7725	92.3	2.20	6.03		
−34年目	S 60	2.6659	93.0	6.10	15.96		
−33年目	S 61	2.5633	94.6	6.10	15.09		
−32年目	S 62	2.4648	94.4	6.10	14.54		
−31年目	S 63	2.3700	94.9	6.44	14.68		
−30年目	H 1	2.2788	97.4	13.50	28.84		
−29年目	H 2	2.1911	99.6	9.86	19.80		
−28年目	H 3	2.1068	102.0	8.88	16.75		
−27年目	H 4	2.0258	103.4	7.85	14.04		
−26年目	H 5	1.9479	103.7	9.98	17.12		
−25年目	H 6	1.8730	103.6	11.31	18.67		
−24年目	H 7	1.8009	103.0	20.26	32.34		
−23年目	H 8	1.7317	102.4	30.34	46.84		
−22年目	H 9	1.6651	103.4	33.57	49.36		
−21年目	H 10	1.6010	102.8	5.00	7.11		
−20年目	H 11	1.5395	101.3	6.18	8.57		
−19年目	H 12	1.4802	99.7	4.38	5.94		
−18年目	H 13	1.4233	98.4	10.55	13.93		
−17年目	H 14	1.3686	96.6	7.71	9.97		
−16年目	H 15	1.3159	95.4	9.62	12.11		
−15年目	H 16	1.2653	94.4	18.71	22.90		
−14年目	H 17	1.2167	93.2	20.42	24.34		
−13年目	H 18	1.1699	92.5	26.44	30.53		
−12年目	H 19	1.1249	91.7	21.65	24.25		
−11年目	H 20	1.0816	91.3	13.54	14.64		
−10年目	H 21	1.0400	91.3	5.29	5.50		
−9年目	H 22	1.0000	91.3	11.86	11.86		
−8年目	H 23	0.9615	91.3	10.00	9.62		
−7年目	H 24	0.9246	91.3	10.00	9.25		
−6年目	H 25	0.8890	91.3	19.54	17.37		
−5年目	H 26	0.8548	91.3	18.05	15.43		
−4年目	H 27	0.8219	91.3	18.05	14.84		
−3年目	H 28	0.7903	91.3	18.05	14.26		
−2年目	H 29	0.7599	91.3	18.04	13.71		
−1年目	H 30	0.7307	91.3	18.04	13.18		
供用開始年次	H 31	0.7026	91.3			1.09	0.77
1年目	H 32	0.6756	91.3			1.09	0.74
2年目	H 33	0.6496	91.3			1.09	0.71
3年目	H 34	0.6246	91.3			1.09	0.68
4年目	H 35	0.6006	91.3			1.09	0.65
5年目	H 36	0.5775	91.3			1.09	0.63
6年目	H 37	0.5553	91.3			1.09	0.61
7年目	H 38	0.5339	91.3			1.09	0.58
8年目	H 39	0.5134	91.3			1.09	0.56
9年目	H 40	0.4936	91.3			1.09	0.54
10年目	H 41	0.4746	91.3			1.09	0.52
11年目	H 42	0.4564	91.3			1.09	0.50
12年目	H 43	0.4388	91.3			1.09	0.48
13年目	H 44	0.4220	91.3			1.09	0.46
14年目	H 45	0.4057	91.3			1.09	0.44
15年目	H 46	0.3901	91.3			1.09	0.43
16年目	H 47	0.3751	91.3			1.09	0.41
17年目	H 48	0.3607	91.3			1.09	0.39
18年目	H 49	0.3468	91.3			1.09	0.38
19年目	H 50	0.3335	91.3			1.09	0.36
20年目	H 51	0.3207	91.3			1.09	0.35
21年目	H 52	0.3083	91.3			1.09	0.34
22年目	H 53	0.2965	91.3			1.09	0.32
23年目	H 54	0.2851	91.3			1.09	0.31
24年目	H 55	0.2741	91.3			1.09	0.30
25年目	H 56	0.2636	91.3			1.09	0.29
26年目	H 57	0.2534	91.3			1.09	0.28
27年目	H 58	0.2437	91.3			1.09	0.27
28年目	H 59	0.2343	91.3			1.09	0.26
29年目	H 60	0.2253	91.3			1.09	0.25
30年目	H 61	0.2166	91.3			1.09	0.24
31年目	H 62	0.2083	91.3			1.09	0.23
32年目	H 63	0.2003	91.3			1.09	0.22
33年目	H 64	0.1926	91.3			1.09	0.21
34年目	H 65	0.1852	91.3			1.09	0.20
35年目	H 66	0.1780	91.3			1.09	0.19
36年目	H 67	0.1712	91.3			1.09	0.19
37年目	H 68	0.1646	91.3			1.09	0.18
38年目	H 69	0.1583	91.3			1.09	0.17
39年目	H 70	0.1522	91.3			1.09	0.17
40年目	H 71	0.1463	91.3			1.09	0.16
41年目	H 72	0.1407	91.3			1.09	0.15
42年目	H 73	0.1353	91.3			1.09	0.15
43年目	H 74	0.1301	91.3			1.09	0.14
44年目	H 75	0.1251	91.3			1.09	0.14
45年目	H 76	0.1203	91.3			1.09	0.13
46年目	H 77	0.1157	91.3			1.09	0.13
47年目	H 78	0.1112	91.3			1.09	0.12
48年目	H 79	0.1069	91.3			1.09	0.12
49年目	H 80	0.1028	91.3	−92.43	−9.50	1.09	0.11
合　計				371.58	601.06	54.50	17.16
単純事業費計				464.01		54.50	

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、
必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として
評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.129	8.8	1.14

箇所名：大館西道路（残事業）

年次	年度	割戻率	GDP ﾃﾞﾌﾚｰﾀ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持管理費（億円） 単純価値	維持管理費（億円） 現在価値
-8年目	H 23	0.9615	91.3	10.00	9.62		
-7年目	H 24	0.9246	91.3	10.00	9.25		
-6年目	H 25	0.8890	91.3	19.54	17.37		
-5年目	H 26	0.8548	91.3	18.05	15.43		
-4年目	H 27	0.8219	91.3	18.05	14.84		
-3年目	H 28	0.7903	91.3	18.05	14.26		
-2年目	H 29	0.7599	91.3	18.04	13.71		
-1年目	H 30	0.7307	91.3	18.04	13.18		
供用開始年次	H 31	0.7026	91.3			1.09	0.77
1年目	H 32	0.6756	91.3			1.09	0.74
2年目	H 33	0.6496	91.3			1.09	0.71
3年目	H 34	0.6246	91.3			1.09	0.68
4年目	H 35	0.6006	91.3			1.09	0.65
5年目	H 36	0.5775	91.3			1.09	0.63
6年目	H 37	0.5553	91.3			1.09	0.61
7年目	H 38	0.5339	91.3			1.09	0.58
8年目	H 39	0.5134	91.3			1.09	0.56
9年目	H 40	0.4936	91.3			1.09	0.54
10年目	H 41	0.4746	91.3			1.09	0.52
11年目	H 42	0.4564	91.3			1.09	0.50
12年目	H 43	0.4388	91.3			1.09	0.48
13年目	H 44	0.4220	91.3			1.09	0.46
14年目	H 45	0.4057	91.3			1.09	0.44
15年目	H 46	0.3901	91.3			1.09	0.43
16年目	H 47	0.3751	91.3			1.09	0.41
17年目	H 48	0.3607	91.3			1.09	0.39
18年目	H 49	0.3468	91.3			1.09	0.38
19年目	H 50	0.3335	91.3			1.09	0.36
20年目	H 51	0.3207	91.3			1.09	0.35
21年目	H 52	0.3083	91.3			1.09	0.34
22年目	H 53	0.2965	91.3			1.09	0.32
23年目	H 54	0.2851	91.3			1.09	0.31
24年目	H 55	0.2741	91.3			1.09	0.30
25年目	H 56	0.2636	91.3			1.09	0.29
26年目	H 57	0.2534	91.3			1.09	0.28
27年目	H 58	0.2437	91.3			1.09	0.27
28年目	H 59	0.2343	91.3			1.09	0.26
29年目	H 60	0.2253	91.3			1.09	0.25
30年目	H 61	0.2166	91.3			1.09	0.24
31年目	H 62	0.2083	91.3			1.09	0.23
32年目	H 63	0.2003	91.3			1.09	0.22
33年目	H 64	0.1926	91.3			1.09	0.21
34年目	H 65	0.1852	91.3			1.09	0.20
35年目	H 66	0.1780	91.3			1.09	0.19
36年目	H 67	0.1712	91.3			1.09	0.19
37年目	H 68	0.1646	91.3			1.09	0.18
38年目	H 69	0.1583	91.3			1.09	0.17
39年目	H 70	0.1522	91.3			1.09	0.17
40年目	H 71	0.1463	91.3			1.09	0.16
41年目	H 72	0.1407	91.3			1.09	0.15
42年目	H 73	0.1353	91.3			1.09	0.15
43年目	H 74	0.1301	91.3			1.09	0.14
44年目	H 75	0.1251	91.3			1.09	0.14
45年目	H 76	0.1203	91.3			1.09	0.13
46年目	H 77	0.1157	91.3			1.09	0.13
47年目	H 78	0.1112	91.3			1.09	0.12
48年目	H 79	0.1069	91.3			1.09	0.12
49年目	H 80	0.1028	91.3	0.00	0.00	1.09	0.11
合　計				129.77	107.66	54.50	17.16

単純事業費計	129.77	54.50

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、
必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として
評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：大館西道路(全体)

年次	年度（基準年） H22	総走行台キロの年次別伸び率（北東北ﾌﾞﾛｯｸ） 乗用車類	貨物車類	全 車	割戻率 4% (A)	GDP ﾃﾞﾌﾚｰﾀ	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合 計（億円） 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 31	0.99410	0.99210	0.99347	0.7026	91.3	39.47	9.37	26.69	75.53	53.07	5.15	0.57	0.67	6.39	4.49	2.70	1.90	84.62	59.45
1年目	H 32	0.99406	0.99204	0.99343	0.6756	91.3	39.24	9.30	26.48	75.02	50.68	5.12	0.57	0.66	6.35	4.29	2.68	1.81	84.05	56.78
2年目	H 33	0.99352	0.99451	0.99383	0.6496	91.3	38.99	9.25	26.33	74.57	48.44	5.09	0.57	0.66	6.32	4.11	2.66	1.73	83.55	54.27
3年目	H 34	0.99348	0.99448	0.99379	0.6246	91.3	38.74	9.20	26.18	74.12	46.30	5.06	0.57	0.66	6.29	3.93	2.64	1.65	83.05	51.87
4年目	H 35	0.99344	0.99445	0.99375	0.6006	91.3	38.49	9.15	26.03	73.67	44.25	5.03	0.57	0.66	6.26	3.76	2.62	1.57	82.55	49.58
5年目	H 36	0.99339	0.99441	0.99371	0.5775	91.3	38.24	9.10	25.88	73.22	42.28	5.00	0.57	0.66	6.23	3.60	2.60	1.50	82.05	47.38
6年目	H 37	0.99335	0.99438	0.99367	0.5553	91.3	37.99	9.05	25.73	72.77	40.41	4.97	0.57	0.66	6.20	3.44	2.58	1.43	81.55	45.28
7年目	H 38	0.99330	0.99435	0.99363	0.5339	91.3	37.74	9.00	25.58	72.32	38.61	4.94	0.57	0.66	6.17	3.29	2.56	1.37	81.05	43.27
8年目	H 39	0.99326	0.99432	0.99359	0.5134	91.3	37.49	8.95	25.43	71.87	36.90	4.91	0.57	0.66	6.14	3.15	2.54	1.30	80.55	41.35
9年目	H 40	0.99321	0.99429	0.99355	0.4936	91.3	37.24	8.90	25.28	71.42	35.25	4.88	0.57	0.66	6.11	3.02	2.52	1.24	80.05	39.51
10年目	H 41	0.99317	0.99425	0.99351	0.4746	91.3	36.99	8.85	25.13	70.97	33.68	4.85	0.57	0.66	6.08	2.89	2.50	1.19	79.55	37.75
11年目	H 42	0.99312	0.99422	0.99347	0.4564	91.3	36.74	8.80	24.98	70.52	32.19	4.82	0.57	0.66	6.05	2.76	2.48	1.13	79.05	36.08
12年目	H 43	0.98924	0.99793	0.99198	0.4388	91.3	36.34	8.78	24.93	70.05	30.74	4.77	0.57	0.66	6.00	2.63	2.46	1.08	78.51	34.45
13年目	H 44	0.98912	0.99793	0.99192	0.4220	91.3	35.94	8.76	24.88	69.58	29.36	4.72	0.57	0.66	5.95	2.51	2.44	1.03	77.97	32.90
14年目	H 45	0.98900	0.99793	0.99185	0.4057	91.3	35.54	8.74	24.83	69.11	28.04	4.67	0.57	0.66	5.90	2.39	2.42	0.98	77.43	31.41
15年目	H 46	0.98888	0.99792	0.99178	0.3901	91.3	35.14	8.72	24.78	68.64	26.78	4.62	0.57	0.66	5.85	2.28	2.40	0.94	76.89	29.99
16年目	H 47	0.98875	0.99792	0.99172	0.3751	91.3	34.74	8.70	24.73	68.17	25.57	4.57	0.57	0.66	5.80	2.18	2.38	0.89	76.35	28.64
17年目	H 48	0.98863	0.99791	0.99165	0.3607	91.3	34.35	8.68	24.68	67.71	24.42	4.52	0.57	0.66	5.75	2.07	2.36	0.85	75.82	27.35
18年目	H 49	0.98849	0.99791	0.99158	0.3468	91.3	33.95	8.66	24.63	67.24	23.32	4.47	0.57	0.66	5.70	1.98	2.34	0.81	75.28	26.11
19年目	H 50	0.98836	0.99790	0.99150	0.3335	91.3	33.55	8.64	24.58	66.77	22.27	4.42	0.57	0.66	5.65	1.88	2.32	0.77	74.74	24.93
20年目	H 51	0.98822	0.99790	0.99143	0.3207	91.3	33.15	8.62	24.53	66.30	21.26	4.37	0.57	0.66	5.60	1.80	2.30	0.74	74.20	23.80
21年目	H 52	0.98808	0.99790	0.99136	0.3083	91.3	32.75	8.60	24.48	65.83	20.30	4.32	0.57	0.66	5.55	1.71	2.28	0.70	73.66	22.71
22年目	H 53	0.98794	0.99789	0.99128	0.2965	91.3	32.36	8.58	24.43	65.37	19.38	4.27	0.57	0.66	5.50	1.63	2.26	0.67	73.13	21.68
23年目	H 54	0.98779	0.99789	0.99120	0.2851	91.3	31.96	8.56	24.38	64.90	18.50	4.22	0.57	0.66	5.45	1.55	2.24	0.64	72.59	20.70
24年目	H 55	0.98764	0.99788	0.99113	0.2741	91.3	31.56	8.54	24.33	64.43	17.66	4.17	0.57	0.66	5.40	1.48	2.22	0.61	72.05	19.75
25年目	H 56	0.98749	0.99788	0.99105	0.2636	91.3	31.17	8.52	24.28	63.97	16.86	4.12	0.57	0.66	5.35	1.41	2.20	0.58	71.52	18.85
26年目	H 57	0.98733	0.99787	0.99097	0.2534	91.3	30.78	8.50	24.23	63.51	16.09	4.07	0.57	0.66	5.30	1.34	2.18	0.55	70.99	17.99
27年目	H 58	0.98717	0.99787	0.99088	0.2437	91.3	30.39	8.48	24.18	63.05	15.37	4.02	0.57	0.66	5.25	1.28	2.16	0.53	70.46	17.17
28年目	H 59	0.98700	0.99786	0.99080	0.2343	91.3	29.99	8.46	24.13	62.58	14.66	3.97	0.57	0.66	5.20	1.22	2.14	0.50	69.92	16.38
29年目	H 60	0.98683	0.99786	0.99072	0.2253	91.3	29.60	8.44	24.08	62.12	14.00	3.92	0.57	0.66	5.15	1.16	2.12	0.48	69.39	15.63
30年目	H 61	0.98665	0.99785	0.99063	0.2166	91.3	29.20	8.42	24.03	61.65	13.35	3.87	0.57	0.66	5.10	1.10	2.10	0.45	68.85	14.91
31年目	H 62	0.98647	0.99785	0.99054	0.2083	91.3	28.80	8.40	23.98	61.18	12.74	3.82	0.57	0.66	5.05	1.05	2.08	0.43	68.31	14.23
32年目	H 63	0.98629	0.99784	0.99045	0.2003	91.3	28.41	8.38	23.93	60.72	12.16	3.77	0.57	0.66	5.00	1.00	2.06	0.41	67.78	13.58
33年目	H 64	0.98610	0.99784	0.99036	0.1926	91.3	28.02	8.36	23.88	60.26	11.61	3.72	0.57	0.66	4.95	0.95	2.04	0.39	67.25	12.95
34年目	H 65	0.98590	0.99784	0.99026	0.1852	91.3	27.62	8.34	23.83	59.79	11.07	3.67	0.57	0.66	4.90	0.91	2.02	0.37	66.71	12.35
35年目	H 66	0.98570	0.99783	0.99017	0.1780	91.3	27.23	8.32	23.78	59.33	10.56	3.62	0.57	0.66	4.85	0.86	2.00	0.36	66.18	11.78
36年目	H 67	0.98549	0.99783	0.99007	0.1712	91.3	26.83	8.30	23.73	58.86	10.08	3.57	0.57	0.66	4.80	0.82	1.98	0.34	65.64	11.24
37年目	H 68	0.98528	0.99782	0.98997	0.1646	91.3	26.44	8.28	23.68	58.40	9.61	3.52	0.57	0.66	4.75	0.78	1.96	0.32	65.11	10.72
38年目	H 69	0.98506	0.99782	0.98987	0.1583	91.3	26.04	8.26	23.63	57.93	9.17	3.47	0.57	0.66	4.70	0.74	1.94	0.31	64.57	10.22
39年目	H 70	0.98483	0.99781	0.98977	0.1522	91.3	25.64	8.24	23.58	57.46	8.75	3.42	0.57	0.66	4.65	0.71	1.92	0.29	64.03	9.75
40年目	H 71	0.98460	0.99781	0.98966	0.1463	91.3	25.25	8.22	23.53	57.00	8.34	3.37	0.57	0.66	4.60	0.67	1.90	0.28	63.50	9.29
41年目	H 72	0.98436	0.99780	0.98955	0.1407	91.3	24.86	8.20	23.48	56.54	7.96	3.32	0.57	0.66	4.55	0.64	1.88	0.26	62.97	8.86
42年目	H 73	0.98411	0.99780	0.98944	0.1353	91.3	24.46	8.18	23.43	56.07	7.59	3.27	0.57	0.66	4.50	0.61	1.86	0.25	62.43	8.45
43年目	H 74	0.98385	0.99779	0.98933	0.1301	91.3	24.06	8.16	23.38	55.60	7.23	3.22	0.57	0.66	4.45	0.58	1.84	0.24	61.89	8.05
44年目	H 75	0.98359	0.99779	0.98921	0.1251	91.3	23.67	8.14	23.33	55.14	6.90	3.17	0.57	0.66	4.40	0.55	1.82	0.23	61.36	7.68
45年目	H 76	0.98331	0.99778	0.98910	0.1203	91.3	23.27	8.12	23.28	54.67	6.58	3.12	0.57	0.66	4.35	0.52	1.80	0.22	60.82	7.32
46年目	H 77	0.98303	0.99778	0.98898	0.1157	91.3	22.88	8.10	23.23	54.21	6.27	3.07	0.57	0.66	4.30	0.50	1.78	0.21	60.29	6.98
47年目	H 78	0.98273	0.99777	0.98885	0.1112	91.3	22.48	8.08	23.18	53.74	5.98	3.02	0.57	0.66	4.25	0.47	1.76	0.20	59.75	6.64
48年目	H 79	0.98243	0.99777	0.98873	0.1069	91.3	22.09	8.06	23.13	53.28	5.70	2.97	0.57	0.66	4.20	0.45	1.74	0.19	59.22	6.33
49年目	H 80	0.98212	0.99776	0.98860	0.1028	91.3	21.70	8.04	23.08	52.82	5.43	2.92	0.57	0.66	4.15	0.43	1.72	0.18	58.69	6.03
合 計							1,559.57	428.50	1,221.91	3,209.98	1,063.70	205.93	28.50	33.01	267.44	89.59	110.50	37.10	3,587.92	1,190.40

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：大館西道路（残事業）

年次	年度（基準年）	総走行台キロの年次別伸び率（北東北ﾌﾞﾛｯｸ）			割戻率 4%	GDP ﾃﾞﾌﾚｰﾀ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合　計（億円）	
		乗用車類	貨物車類	全　車	(A)		乗用車類	小型貨物	普通貨物	①　計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②　計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H　31	0.99410	0.99210	0.99347	0.7026	91.3	25.21	6.20	24.05	55.46	38.97	2.92	0.32	0.06	3.30	2.32	1.76	1.24	60.52	42.52
1年目	H　32	0.99406	0.99204	0.99343	0.6756	91.3	25.06	6.15	23.86	55.07	37.21	2.90	0.32	0.06	3.28	2.22	1.75	1.18	60.10	40.60
2年目	H　33	0.99352	0.99451	0.99383	0.6496	91.3	24.90	6.12	23.73	54.75	35.57	2.88	0.32	0.06	3.26	2.12	1.74	1.13	59.75	38.81
3年目	H　34	0.99348	0.99448	0.99379	0.6246	91.3	24.74	6.09	23.60	54.43	34.00	2.86	0.32	0.06	3.24	2.02	1.73	1.08	59.40	37.10
4年目	H　35	0.99344	0.99445	0.99375	0.6006	91.3	24.58	6.06	23.47	54.11	32.50	2.84	0.32	0.06	3.22	1.93	1.72	1.03	59.05	35.47
5年目	H　36	0.99339	0.99441	0.99371	0.5775	91.3	24.42	6.03	23.34	53.79	31.06	2.82	0.32	0.06	3.20	1.85	1.71	0.99	58.70	33.90
6年目	H　37	0.99335	0.99438	0.99367	0.5553	91.3	24.26	6.00	23.21	53.47	29.69	2.80	0.32	0.06	3.18	1.77	1.70	0.94	58.35	32.40
7年目	H　38	0.99330	0.99435	0.99363	0.5339	91.3	24.10	5.97	23.08	53.15	28.38	2.78	0.32	0.06	3.16	1.69	1.69	0.90	58.00	30.97
8年目	H　39	0.99326	0.99432	0.99359	0.5134	91.3	23.94	5.94	22.95	52.83	27.12	2.76	0.32	0.06	3.14	1.61	1.68	0.86	57.65	29.60
9年目	H　40	0.99321	0.99429	0.99355	0.4936	91.3	23.78	5.91	22.82	52.51	25.92	2.74	0.32	0.06	3.12	1.54	1.67	0.82	57.30	28.28
10年目	H　41	0.99317	0.99425	0.99351	0.4746	91.3	23.62	5.88	22.69	52.19	24.77	2.72	0.32	0.06	3.10	1.47	1.66	0.79	56.95	27.03
11年目	H　42	0.99312	0.99422	0.99347	0.4564	91.3	23.46	5.85	22.56	51.87	23.67	2.70	0.32	0.06	3.08	1.41	1.65	0.75	56.60	25.83
12年目	H　43	0.98924	0.99793	0.99198	0.4388	91.3	23.21	5.84	22.51	51.56	22.62	2.67	0.32	0.06	3.05	1.34	1.64	0.72	56.25	24.68
13年目	H　44	0.98912	0.99793	0.99192	0.4220	91.3	22.96	5.83	22.46	51.25	21.63	2.64	0.32	0.06	3.02	1.27	1.63	0.69	55.90	23.59
14年目	H　45	0.98900	0.99793	0.99185	0.4057	91.3	22.71	5.82	22.41	50.94	20.67	2.61	0.32	0.06	2.99	1.21	1.62	0.66	55.55	22.54
15年目	H　46	0.98888	0.99792	0.99178	0.3901	91.3	22.46	5.81	22.36	50.63	19.75	2.58	0.32	0.06	2.96	1.15	1.61	0.63	55.20	21.53
16年目	H　47	0.98875	0.99792	0.99172	0.3751	91.3	22.21	5.80	22.31	50.32	18.88	2.55	0.32	0.06	2.93	1.10	1.60	0.60	54.85	20.57
17年目	H　48	0.98863	0.99791	0.99165	0.3607	91.3	21.96	5.79	22.26	50.01	18.04	2.52	0.32	0.06	2.90	1.05	1.59	0.57	54.50	19.66
18年目	H　49	0.98849	0.99791	0.99158	0.3468	91.3	21.71	5.78	22.21	49.70	17.24	2.49	0.32	0.06	2.87	1.00	1.58	0.55	54.15	18.78
19年目	H　50	0.98836	0.99790	0.99150	0.3335	91.3	21.46	5.77	22.16	49.39	16.47	2.46	0.32	0.06	2.84	0.95	1.57	0.52	53.80	17.94
20年目	H　51	0.98822	0.99790	0.99143	0.3207	91.3	21.21	5.76	22.11	49.08	15.74	2.43	0.32	0.06	2.81	0.90	1.56	0.50	53.45	17.14
21年目	H　52	0.98808	0.99790	0.99136	0.3083	91.3	20.96	5.75	22.06	48.77	15.04	2.40	0.32	0.06	2.78	0.86	1.55	0.48	53.10	16.37
22年目	H　53	0.98794	0.99789	0.99128	0.2965	91.3	20.71	5.74	22.01	48.46	14.37	2.37	0.32	0.06	2.75	0.82	1.54	0.46	52.75	15.64
23年目	H　54	0.98779	0.99789	0.99120	0.2851	91.3	20.46	5.73	21.96	48.15	13.73	2.34	0.32	0.06	2.72	0.78	1.53	0.44	52.40	14.94
24年目	H　55	0.98764	0.99788	0.99113	0.2741	91.3	20.21	5.72	21.91	47.84	13.11	2.31	0.32	0.06	2.69	0.74	1.52	0.42	52.05	14.27
25年目	H　56	0.98749	0.99788	0.99105	0.2636	91.3	19.96	5.71	21.86	47.53	12.53	2.28	0.32	0.06	2.66	0.70	1.51	0.40	51.70	13.63
26年目	H　57	0.98733	0.99787	0.99097	0.2534	91.3	19.71	5.70	21.81	47.22	11.97	2.25	0.32	0.06	2.63	0.67	1.50	0.38	51.35	13.01
27年目	H　58	0.98717	0.99787	0.99088	0.2437	91.3	19.46	5.69	21.76	46.91	11.43	2.22	0.32	0.06	2.60	0.63	1.49	0.36	51.00	12.43
28年目	H　59	0.98700	0.99786	0.99080	0.2343	91.3	19.21	5.68	21.71	46.60	10.92	2.19	0.32	0.06	2.57	0.60	1.48	0.35	50.65	11.87
29年目	H　60	0.98683	0.99786	0.99072	0.2253	91.3	18.96	5.67	21.66	46.29	10.43	2.16	0.32	0.06	2.54	0.57	1.47	0.33	50.30	11.33
30年目	H　61	0.98665	0.99785	0.99063	0.2166	91.3	18.71	5.66	21.61	45.98	9.96	2.13	0.32	0.06	2.51	0.54	1.46	0.32	49.95	10.82
31年目	H　62	0.98647	0.99785	0.99054	0.2083	91.3	18.46	5.65	21.56	45.67	9.51	2.10	0.32	0.06	2.48	0.52	1.45	0.30	49.60	10.33
32年目	H　63	0.98629	0.99784	0.99045	0.2003	91.3	18.21	5.64	21.51	45.36	9.09	2.07	0.32	0.06	2.45	0.49	1.44	0.29	49.25	9.86
33年目	H　64	0.98610	0.99784	0.99036	0.1926	91.3	17.96	5.63	21.46	45.05	8.68	2.04	0.32	0.06	2.42	0.47	1.43	0.28	48.90	9.42
34年目	H　65	0.98590	0.99784	0.99026	0.1852	91.3	17.71	5.62	21.41	44.74	8.29	2.01	0.32	0.06	2.39	0.44	1.42	0.26	48.55	8.99
35年目	H　66	0.98570	0.99783	0.99017	0.1780	91.3	17.46	5.61	21.36	44.43	7.91	1.98	0.32	0.06	2.36	0.42	1.41	0.25	48.20	8.58
36年目	H　67	0.98549	0.99783	0.99007	0.1712	91.3	17.21	5.60	21.31	44.12	7.55	1.95	0.32	0.06	2.33	0.40	1.40	0.24	47.85	8.19
37年目	H　68	0.98528	0.99782	0.98997	0.1646	91.3	16.96	5.59	21.26	43.81	7.21	1.92	0.32	0.06	2.30	0.38	1.39	0.23	47.50	7.82
38年目	H　69	0.98506	0.99782	0.98987	0.1583	91.3	16.71	5.58	21.21	43.50	6.89	1.89	0.32	0.06	2.27	0.36	1.38	0.22	47.15	7.46
39年目	H　70	0.98483	0.99781	0.98977	0.1522	91.3	16.46	5.57	21.16	43.19	6.57	1.86	0.32	0.06	2.24	0.34	1.37	0.21	46.80	7.12
40年目	H　71	0.98460	0.99781	0.98966	0.1463	91.3	16.21	5.56	21.11	42.88	6.27	1.83	0.32	0.06	2.21	0.32	1.36	0.20	46.45	6.80
41年目	H　72	0.98436	0.99780	0.98955	0.1407	91.3	15.96	5.55	21.06	42.57	5.99	1.80	0.32	0.06	2.18	0.31	1.35	0.19	46.10	6.49
42年目	H　73	0.98411	0.99780	0.98944	0.1353	91.3	15.71	5.54	21.01	42.26	5.72	1.77	0.32	0.06	2.15	0.29	1.34	0.18	45.75	6.19
43年目	H　74	0.98385	0.99779	0.98933	0.1301	91.3	15.46	5.53	20.96	41.95	5.46	1.74	0.32	0.06	2.12	0.28	1.33	0.17	45.40	5.91
44年目	H　75	0.98359	0.99779	0.98921	0.1251	91.3	15.21	5.52	20.91	41.64	5.21	1.71	0.32	0.06	2.09	0.26	1.32	0.17	45.05	5.64
45年目	H　76	0.98331	0.99778	0.98910	0.1203	91.3	14.96	5.51	20.86	41.33	4.97	1.68	0.32	0.06	2.06	0.25	1.31	0.16	44.70	5.38
46年目	H　77	0.98303	0.99778	0.98898	0.1157	91.3	14.71	5.50	20.81	41.02	4.75	1.65	0.32	0.06	2.03	0.23	1.30	0.15	44.35	5.13
47年目	H　78	0.98273	0.99777	0.98885	0.1112	91.3	14.46	5.49	20.76	40.71	4.53	1.62	0.32	0.06	2.00	0.22	1.29	0.14	44.00	4.89
48年目	H　79	0.98243	0.99777	0.98873	0.1069	91.3	14.21	5.48	20.71	40.40	4.32	1.59	0.32	0.06	1.97	0.21	1.28	0.14	43.65	4.67
49年目	H　80	0.98212	0.99776	0.98860	0.1028	91.3	13.96	5.47	20.66	40.09	4.12	1.56	0.32	0.06	1.94	0.20	1.27	0.13	43.30	4.45
合　計							998.30	287.09	1,099.59	2,384.98	786.38	114.09	16.00	3.00	133.09	45.20	75.75	24.99	2,593.82	856.57

【客観的評価指標　５４項目中　１９項目に該当】

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）
1．活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり
		□ 中心市街地内で行う事業である
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる
	国土・地域ネットワークの構築	■ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り
		□ 地域高規格道路の位置づけあり
		■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する
		□ 現道等における交通不能区間を解消する
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる
	個性ある地域の形成	■ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する
		■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される
		□ 特別立法に基づく事業である
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である
		□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）
２．暮らし	歩行者･自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる
		□ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される
	無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化５ヶ年計画に位置づけ有り
		□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる
３．安全	安全な生活環境の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが１つしかなく、災害による１～２箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する
		■ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす
４．環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量
	生活環境の改善・保全	○ 現道等における自動車からのNO2排出削減率
		○ 現道等における自動車からのSPM排出削減率
		□ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される
５．その他	他のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄとの関係	□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている
		■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり
		□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる

東北地方整備局
企画第 67 号
平成22年8月20日

建政　―　６５６
平成２２年８月２０日

国土交通省東北地方整備局長
青　山　俊　行　　様

秋田県知事
佐　竹　敬　久

東北地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
に係る意見について（回答）

平成２２年８月１０日付け国東整企画第６０号で照会のありました以下の事業について、継続に異議ありません。

県民の安全・安心の確保、地域活性化を図るため、一層の事業推進をお願いします。

事　業　名	備　考
一般国道　７号　鷹巣大館道路事業	
一般国道　７号　大館西道路事業	
一般国道１３号　河辺拡幅事業	
一般国道１３号　院内道路事業	

担当　建設交通政策課
企画・広報班 [redacted]
TEL　018-860-2415
FAX　018-860-3800